



令和7年度 地域協働学校 ふじみ野市立元福小学校

元福小だより

No.7 令和7年10月31日

ふじみ野市元福岡3-15-2 TEL 264-5402 FAX 266-2796

E-mail motofukusho@fujimino.ed.jp



学校の本分

校長 木内 芳仁

なかなか終わりが見えなかった残暑も一段落し、ようやく秋が感じられる気候になってきました。大きく深呼吸すると、空気の冷たさからあらためて秋の訪れを感じるとともに、どこからともなく香る金木犀の甘い香りに心も体も癒され、リラックスできる気がします。夏が長かった分、短い秋になりそうですが、この秋ならではの楽しみを見つけ、短い秋を存分に味わいたいものです。

さて、さる10月18日に無事に運動会を開催することができました。天気にも恵まれ、当日はたくさんの保護者や地域のみなさんに足を運んでいただき、子供たちに温かい声援やたくさんの拍手をいただきました。本当にありがとうございました。子供たちは、「勇気と元気を心にたくして全力挑戦 運動会」のスローガンのとおり、練習の成果を余すところなく発揮し、競技や演技に全力で挑戦する姿を見せてくれました。子供たちのパワーとエネルギーをあらためて感じた一日となりました。

私としては、もう少しは運動会の余韻に浸りたいところではありましたが、子供たちも教職員も、すぐに気持ちは次に向かっていました。運動会後の週明けからは、子供たちの歌声や楽器の音が響き渡っています。次の大きな学校行事である音楽会に向けて、休む間もなく走り出しています。音楽会も、どうぞご期待ください。

とはいえ、学校の本分は日々の授業であることは、昔も今も変わりはありません。音楽会への準備を進めながらも、授業は授業。子供たちは気持ちを切り替えながら授業にも一生懸命取り組んでいます。その成果の一端は、今年度も、学力学習状況調査の結果で明らかになっています。2年生から6年生対象の「入間地区算数学力学習状況調査」では、全25領域中24領域で地区平均正答数を2～18ポイント上回りました。4年生以上が対象の「埼玉県学力・学習状況調査」では、国語と算数の調査において、1つの学年の算数がほぼ平均並みで、他は埼玉県とふじみ野市の平均正答率を上回りました。6年生が対象の「全国学力・学習状況調査」では、国語、算数、理科の3教科すべてにおいて全国と埼玉県の平均正答数を上回る結果となりました。この結果から、いかに子供たちが日々の授業や学習活動に熱心に取り組む、学習内容を着実に身に付けているかご理解いただけるのではないかと思います。

子供たちは、天気がよい日は暑かろうが寒かろうが、休み時間は校庭で生き生きと、目を輝かせて、歓声を上げて遊んでいます。それは、「遊びたい」からです。授業も同じでなければならないと考えます。つまり、子供たちに「勉強したい」と思わせなければなりません。元福小が目指す授業スタイルは「**子供が主役の必然性のある授業**」です。「子供が主役」とは、子供が自分の意思で学びに向かうことを指します。また「必然性のある授業」とは、取り組むことに自分で価値を見出せる授業だと私なりに定義しております。元福小では教員全員が年に2回以上、管理職や他の教員に授業を公開することで自らの授業を見直し、改善を図る取組を行っています。また、10月から指導者を招いて国語を研究教科とした授業研究会を実施しています。子供たちのために、子供たちの学ぶ意欲に応えられるように、学校の本分である子供たちのためのよりよい授業づくりに挑戦を続けます。